

# 令和6年度 福井県立丸岡高等学校定時制 学校関係者評価書

<p>(問) (1) 学校評価書の成果と課題が適切かどうか。</p> <p>(2) 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。</p> <p>(3) その他</p>
<p>(意見を聞いた方)</p> <p>丸岡高校定時制教育振興会長, P T A 役員(会長, 副会長2名, 会計, 監事, 各学年委員), 同窓会会長</p>
<p>(意見欄)</p> <p>○教育課程・学習支援</p> <p>(1) ベル着の成果と課題について, 生徒と教職員の評価にずれが生じているので, 原因と改善を考えてほしい。</p> <p>(2) ベル着や時間を守りことがなぜ必要なのかを家庭でも教えていきたい。</p> <p>(3) プリント学習はとても大事なので, 基礎学力をつけるべく, 生徒に課題に取り組ませてほしい。</p> <p>(4) タブレット学習については, 生徒の学力に合わせて活用していただきたい。</p>
<p>○生徒支援</p> <p>(1) 生徒指導への対応は迅速で評価するが, 容儀規定に関しては, 生徒と教員との認識のずれが生じてきており, 改善を考えてほしい。</p> <p>(2) 「正しい身なりで学校生活を送るとともに, 遅刻することなく登校するよう努力する」と回答した生徒の目標指数に対する判定結果が達成されている。</p> <p>(3) 将来, 社会に出るに当たり, 時間を守るや身だしなみを守ることはとても大切なことなので, 引き続き厳しく指導をお願いしたい。</p>
<p>○進路支援</p> <p>(1) 進路相談をしていただくことができて, 本当に助けになっている。</p> <p>(2) 生徒の進路実現が出来るように, 生徒, 教職員, 保護者間の協力体制強化に期待している。</p> <p>(3) 生徒の特性を生かした進路支援をお願いしたい。</p>
<p>○教育相談</p> <p>(1) 「校内で心の悩みや問題を相談できる」の指標が目標を達成しており, 日頃より適切に対応していると思われる。</p> <p>(2) 生徒が気軽に相談できる環境づくりは, 学校でも家庭でもより工夫が必要だと感じる。</p> <p>(3) 学校はこれまで以上に, 家庭, 関係機関, スクールカウンセラー, スクールソーシャルワーカーと連携を図る必要があると思う。</p>
<p>○環境衛生</p> <p>(1) 環境を整えることが, 心の整理にもつながると思うので, 引き続き取り組みをお願いしたい。</p> <p>(2) 学校では, 身の回りの整理整頓の目標値を達成しているが, 家庭では, 甘えが出て, できないことが多かったが, 家庭でも整理整頓を言い続けることで身に付けてもらいたい。</p>
<p>○読書支援</p> <p>(1) 読書の時間は, 家庭ではなかなか持てないので, 学校での取り組みは有り難く思っている。</p> <p>(2) 人とのコミュニケーションには語彙力が必要なので, 引き続き読書の時間をお願いしたい。</p>
<p>○その他</p> <p>(1) 全ての項目に関して, 適切に取り組まれていると思う。</p> <p>(2) 生徒や保護者が興味を持って聞くような進路講演会等の実施をお願いしたい。</p>
<p>○学校関係者評価を踏まえた今後について (学校として次年度にどう対応していくか)</p> <p>次年度の本校の教育の重点目標や具体的取組を設定するにあたっては, 今年度の自己評価と改善方策について学校関係者よりいただいたご意見を真摯に受け止め, 次年度の教育活動に反映したい。次年度は, 次のことに重点的に取り組んでいきたい。</p> <p>(1) 基礎・基本の定着を図り, 主体的・対話的で深い学びを実現するために, I C T機器を活用した教材や授業の工夫を行い, タブレットを効果的に活用して生徒主体の分かりやすい授業を目指す。</p> <p>(2) 容儀規定遵守を日常的に働きかけ, 全教職員で指導にあたる。家庭との連携を密にしながらきめ細やかな指導を行って遅刻数の減少を目指す。</p> <p>(3) 進路支援については, ガイダンスや職業講話, 先輩方の体験談などを聞く機会を多く設定し, 生徒の個性を生かした進路選択, 進路実現のために支援を行っていく。</p> <p>(4) 人権意識の高揚を図り, 生徒との関わりを通して, 生徒の抱える問題の早期発見に努め, 家庭, 関係機関, S C, S S Wとの連携を強化して適切に問題解決を図る。</p> <p>(5) 図書館の積極的な活用や, 読書への意欲を喚起できる取り組みを工夫し, 日々のハートフルタイムをより一層充実させる。</p> <p>(6) 生徒の健康を考える機会をより多く設け, 健康管理の意識向上につながる取り組みを行う。</p> <p>(7) 本校の課題を学校と保護者, 関係機関等が共通理解し, 「チーム学校」で教育活動の成果を上げていく。</p>

